

形象の詩人と謳われる 難波田龍起、宇宙の心象を描く みのわ淳、2人の抽象画家の作品展を開催します。

福井県は現代美術が盛んな土壌を持ち、鯖江市でも多くの現代美術作家が育っています。今回、郷土ゆかりの作家にスポットをあて、鯖江市出身で、国内外で活躍する現代美術作家 みのわ淳(1930～)の初期の作品から現在までの作品40点余を展示します。また、みのわ氏が師事しその制作姿勢などに大きな影響を受けた難波田龍起(1905～1997)の初期の作品から晩年までの作品40点余も展示します。難波田龍起は高村光太郎に師事し、その妻高村智恵子とも親交があり、福井と大変関係が深い作家でもあります。今回、高村光太郎から難波田龍起に宛てた貴重な手紙も紹介します。

日本的詩情により独自の抽象世界を確立した画家 難波田龍起、仏教的世界観の原点から宇宙の心象を表現する画家 みのわ淳のそれぞれの個性や共鳴しあう魂の響きを感じていただければ幸いです。



難波田龍起「形象」紙・蠟画 1964年

難波田 龍起

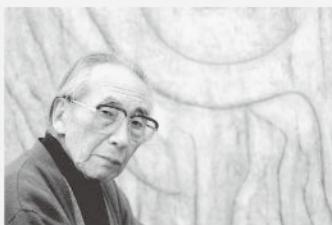
みのわ 淳

師弟展－形象の詩人と宇宙の心象

2011年9月3日(土)－9月25日(日)

am9:00～pm5:00 ※休館日：5日(月)・12日(月)・20日(火)

Master and Disciple Exhibition



難波田龍起(1905～1997)

1905年北海道旭川生まれ。'23年高村光太郎を知り生涯、師と仰ぐ。'27年早稲田大学を中退し、太平洋画会研究所に学ぶ。'28年川島理一郎主宰の金曜会に入り、'35年仲間と「フォルム」を結成。'37年自由美術家協会の創立に参加。'87年東京国立近代美術館で回顧展を開催。'88年毎日芸術賞を受賞。'96年文化功労者。

みのわ淳(1930～)

1930年福井県鯖江市生まれ。'53年難波田龍起に師事。'54年金沢美術工芸大学油絵科卒業。'60年第4回シェル美術賞展受賞。'66年INSEA(美術教育国際会議)出席のため渡欧。'80年アメリカをまわり西ドイツに滞在。その他国内外の美術展に出展、個展多数開催。

Information

- オープニングレセプション 9月3日(土) am9:30～
*レセプション終了後、ギャラリートークがあります。
- アーティストトーク 9月3日(土) pm1:30～
*作家を囲んで、楽しいひと時をお過ごしください。



鯖江市 まなべの館 (1階展示ホール1 展示ホール2) 観覧料：無料

〒916-0024 鯖江市長泉寺町1丁目9-20 TEL：0778-53-2257/0778-51-5999 FAX：0778-54-7123 E-mail：sc-bunka@city.sabae.lg.jp

<交通アクセス>・福井鉄道<西山公園駅>から徒歩3分 ・JR鯖江駅よりつつじバス中央線<市役所>から徒歩3分